

事後評価結果(令和7年度)(原案)

事業名	一般国道32号 猪ノ鼻道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局				
起終点	自:香川県三豊市財田町財田上 至:徳島県三好市池田町州津	延長			8.4 km				
事業概要									
一般国道32号は、香川県高松市を起点に徳島県三好市を経由し、高知県高知市に至る約133kmの広域幹線道路ネットワークである。猪ノ鼻道路は、異常気象時の通行止め解消、連続する急勾配やヘアピンカーブの回避、冬期の積雪・凍結による通行障害の軽減により、安全で信頼性のある交通機能を確保するとともに、徳島県西部地域と香川県西部地域の連携強化を図る延長8.4kmの事業であり、令和2年度に全線開通した。									
地域の防災面の課題									
<ul style="list-style-type: none"> ・猪ノ鼻道路に並行する県道は、山間部を通過し、法面崩落や路肩崩壊などの災害危険箇所が57箇所、線形不良箇所($R < 80$)が28箇所、7%の急勾配箇所が2箇所存在していた。 ・平成16年12月6日の法面崩落災害では、約97時間にわたって全面通行止めとなつた。 ・事前通行規制区間($L=10.04\text{km}$)が存在し、H15～R2の18年間では、約6日(延べ5回)の全面通行止めが発生していた。 ・また、積雪によりH23～R2の10年間は、41.5時間/年のチェーン等必要な通行障害が発生していた。 ・このため、地域住民が日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、地域の喫緊の課題となつた。 									
事業概要図									
<p>※この地図は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用して作成したものである。</p>									
事業の効果等	事業期間	事業化年度 都市計画決定	H15年度 H-年度	用地着手 工事着手	H19年度 H19年度	供用年 (暫定/完成)	(再評価) (実績)	- / R4年度 - / R2年度	変動
	事業費	計画時 (暫定/完成)	[名目値] - / 432億円 (実質値) - / 393億円	実績 (暫定/完成)	[名目値] - / 387億円 (実質値) - / 495億円				0.9倍
	費用対効果分析結果(再評価)	事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等(426億円) ○災害による被害の回避等 <ul style="list-style-type: none"> ・災害等の通行止めによる経済損失(0.35億円) ・災害等の通行止めによる沿道の孤立による経済損失(1.6億円) ○地域住民の不安感の解消 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の通行止めや冬期の凍結・積雪時の不安感を解消 ・線形不良区間の解消による運転者の心理的負担の軽減 	費用 351 億 円 事 業 費: 334 億 円 維持管理費: 17 億 円					
費用対効果分析結果(事後)	事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ○異常気象時における事前通行規制区間($L=\text{約}10.04\text{km}$)の解消 ○緊急輸送道路の信頼性向上 ○線形不良箇所の回避による走行性・安全性の向上 走行時間の短縮等<通行止めによる迂回の解消、冬期の通行障害の軽減>(233億円) 	費用 617 億 円 事 業 費: 580 億 円 維持管理費: 37 億 円						

	<p>事業遅延の理由</p> <p>特になし</p>
	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国土・地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で構成 (三好市～丸亀市(所要時間:70分→60分)、三好市～坂出市(所要時間:72分→62分)) ・線形不良箇所($R < 80$)が解消(28箇所) ・並行する県道における大型車のすれ違い困難区間が解消(7箇所) ○安全で安心できる暮らしの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・三次医療施設へのアクセス向上 (三好市役所～四国こどもとおとの医療センター(所要時間:【並行する県道→本線】57分→47分、【高速道路→本線】54分→47分)) ○災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・徳島県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に指定(一般国道32号) ・高松自動車道が通行止めになった場合の代替路を形成(一般国道32号) ・並行する県道の防災点検箇所(57箇所)を回避するルートを形成(一般国道32号) ・並行する県道の事前通行規制区間($L=10.04\text{km}$)を回避(一般国道32号) ・積雪、路面の凍結等による冬期の通行障害を軽減(一般国道32号)
	他11項目に該当
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>-</p>
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>-</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>-</p>

事業評価監視委員会の意見

- ・審議の結果、事業の効果が発現しており、当該事業に関しては、今後の事後評価及び改善措置は必要ないとした事業者の判断は妥当である。

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・沿線地域(三好市・三豊市)の人口は減少傾向。
- ・自然・歴史・文化等において密接な関係のある観光地として「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が認定。

今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

- ・猪ノ鼻道路の完成供用により、線形不良区間の解消、事前通行規制区間の回避、冬期の通行障害の軽減、広域医療の支援、地域間の連携強化を支援など、猪ノ鼻道路の整備目的に見合った効果が確認できていることから、今後の事業評価および改善措置の必要性はない。

計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- ・事業前・事業後の整備効果に関して統計指標、ヒアリング等を用いて、整備効果の確認ができている。
- ・同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性は見られない。

特記事項

- ・特になし

※ 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※ 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。

(事後評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道32号 猪ノ鼻道路
事業区分	一般国道（二次改築）
事業主体	四国地方整備局

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力		
円滑なモビリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率 ○ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況 ○ 現道又は並行区間等における踏切道の除却もしくは交通改善の状況 ● 当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況 ○ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況 ● 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況 	<p>区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間の削減量：4万人・時間/年 (484万人・時間/年⇒480万人・時間/年) 渋滞損失時間の削減率：0.9%削減</p> <p>区間b（当該区間／並行区間）について：（旧一般国道32号） 渋滞損失時間：7万人・時間/年 (8.6万人・時間/年⇒1.2万人・時間/年) 渋滞損失時間の削減率：86.4%削減</p>
物流効率化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況 ● 農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況 ■ 現道等における総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消 	<p>三好市役所～坂出港：75分⇒65分 (10分短縮) 三好市役所～高松港：100分⇒90分 (10分短縮)</p> <p>木材センター～瀬戸大橋：97分⇒67分 (30分短縮) 養鶏企業～坂出港：99分⇒95分 (4分短縮)</p> <p>国際標準コンテナ車の空間高不足による通行支障区間（香川県仲多度郡まんのう町～徳島県三好市）が解消</p>

都市の再生	<input type="radio"/> 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	—
	<input type="radio"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成(又は一部形成)されたことによる効果	—
	<input type="radio"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	—
	<input type="radio"/> 中心市街地内で行われたことによる効果	—
	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地での事業である	—
	<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	—
	<input type="checkbox"/> 対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となった	—
国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけあり	—
	<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	—
	<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合)	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	三好地方生活圏（三好市）と香川西部地方生活圏（丸亀市・坂出市）を最短時間で連絡 三好市～丸亀市：70分⇒60分（10分短縮） 三好市～坂出市：72分⇒62分（10分短縮）
	<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間が解消	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消	線形不良箇所（R<80）の28箇所が解消 大型車のすれ違い困難な7箇所のトンネルが解消
	<input type="radio"/> 日常活動圏の中心部市へのアクセス向上の状況	—
個性ある地域の形成	<input type="radio"/> 鉄道や河川等により一體的発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況	—
	<input type="radio"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果	—
	<input checked="" type="radio"/> 主要な観光地へのアクセス向上による効果	琴平町（こんびらさん）～大歩危峡：68分⇒58分（10分短縮）
	<input type="radio"/> 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果	—
2. むらし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	
	<input type="checkbox"/> 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況	—
無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された	—
	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	—
	<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成	—
安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上の状況	
	<input checked="" type="radio"/> 三次医療施設へのアクセス向上の状況	三好市役所～四国こどもおとなの医療センター： 【本線と並行する県道の比較】5分⇒47分（10分短縮） 【本線と高速道路の比較】54分⇒47分（7分短縮）

3. 安全	安全な生活環境の確保	
	● 現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	本線・並行する県道の死傷事故件数：7.3件/年⇒1.7件/年
	○ 歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	—
	災害への備え	
	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落が解消	—
	■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	徳島県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に指定
	■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	高松自動車道が通行止になった場合の代替路を形成
	□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能(A'路線としての位置づけがある場合)	—
	■ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消	並行する県道の防災点検箇所（57箇所）を回避するルートを形成
	■ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消	並行する県道の事前通行規制区間（L=10.04km）を回避 積雪、路面の凍結等による冬期の通行障害を低減
4. 環境	地球環境の保全	
	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出量の削減が見込まれる ・ CO2排出削減量：3,943t-CO2/年、CO2排出削減率：1.1%
	生活環境の改善・保全	
	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO2排出量の削減が見込まれる ・ NO2排出削減量：9.9t-NO2/年、NO2排出削減率：88.3%
	● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出量の削減が見込まれる ・ SPM排出削減量：0.58t-SPM/年、SPM排出削減率：90.6%
5. その他	他のプロジェクトとの関係	
	○ 関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	—
	○ 他機関との連携プログラムに関する効果	—
	その他	
	○ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	—

様式－2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
一般国道32号	猪ノ鼻道路	L=8.4km	二次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
5,800	2	四国地方整備局

① 費 用

	事 業 費	維持管理費	更新費	合 計
基 準 年	令和7年度			
単純合計	360億円	71億円	0億円	431億円
基準年における現在価値 (C)	580億円	37億円	0億円	617億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和7年度			
供 用 年	令和3年度			
単年便益 (初年便益)	7.0億円	2.3億円	0.10億円	9.4億円
基準年における現在価値 (B)	172億円	59億円	2.4億円	233億円

交通状況の変化

【事業全体】

様式－3①

事業名：猪ノ鼻道路

(推計時点 R22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 8.4km	交通量 ^{※1}	[台/日]		5,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]		8.6	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]		11.42	
②主な周辺道路 ^{※4}	旧一般国道32号 : 15.1km	交通量	[台/日]	4,700	
		走行時間	[分]	21.0	
		走行時間費用	[億円/年]	21.31	
	一般国道192号 : 8.9km	交通量	[台/日]	9,300	
		走行時間	[分]	12.3	
		走行時間費用	[億円/年]	24.46	
	県道鳴門池田線 : 12.0km	交通量	[台/日]	5,900	
		走行時間	[分]	12.7	
		走行時間費用	[億円/年]	18.21	
③その他道路合計 : 738.7km		走行時間費用	[億円/年]	899.80	
				896.12	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 783.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	963.78	957.10	6.68

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



※この地図は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用して作成したものである。

費用便益分析の条件

事業名：猪ノ鼻道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和7月8月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和7年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計の状況	いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
交通流推計	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	その他()	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin～Qmax)内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

		項目	チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	面的に考慮 <input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮 <input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 () %
		休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 (0.16) 日 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年間(H23～R2)の現道通行止め実績値平均より設定 とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 (1.73) 日 採用した冬期日数の考え方を記載 過去10年間(H23～R2)のチェーン等が必要となった実績値平均より設定 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 通常期のQV式におけるVmaxを一律低下
		交通流推計の時点以外の便益の算定	<input checked="" type="checkbox"/>
		その他 ()	<input type="checkbox"/>
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>
		独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>
		算出根拠を添付すること	
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>
		独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>
		算出根拠を添付すること	
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>
		中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する	<input type="checkbox"/>
		(考慮の場合、算出根拠を添付すること)	
その他			

事業名：猪ノ鼻道路

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細事業計画による値を採用 <input type="checkbox"/> 標準投資パターンを採用 <input type="checkbox"/> その他(概略事業計画による値を採用)	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該区間を管轄する事務所における直轄国道維持管理費実績に基づき算出	
	更新費	更新費の設定根拠を記載 更新計画やこれまでの類似実績等から算出	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である <input type="checkbox"/>	
	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
	考慮する 当該道路整備が行われない場合の費用	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/> 事業費を考慮 <input type="checkbox"/> 維持管理費を考慮	
		当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表

事業名：猪ノ鼻道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円) 延長(km) 単純価値(億円)

0.19 8.4 1.56

年次	年度	社会的割引率	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-18年目	H 15	4%	2.3699	106.1	0.80	1.91				
-17年目	H 16	4%	2.2788	105.0	8.41	19.55				
-16年目	H 17	4%	2.1911	103.7	7.17	16.23				
-15年目	H 18	4%	2.1068	103.0	10.29	22.53				
-14年目	H 19	4%	2.0258	102.1	13.29	28.23				
-13年目	H 20	4%	1.9479	101.6	12.97	26.63				
-12年目	H 21	4%	1.8730	100.3	14.24	28.48				
-11年目	H 22	4%	1.8009	98.6	11.00	21.52				
-10年目	H 23	4%	1.7317	97.2	8.16	15.56				
-9年目	H 24	4%	1.6651	96.4	11.64	21.53				
-8年目	H 25	4%	1.6010	96.4	16.97	30.19				
-7年目	H 26	4%	1.5395	98.7	15.69	26.20				
-6年目	H 27	4%	1.4802	100.2	23.74	37.57				
-5年目	H 28	4%	1.4233	100.2	39.75	60.47				
-4年目	H 29	4%	1.3686	100.5	24.91	36.33				
-3年目	H 30	4%	1.3159	100.4	41.02	57.58				
-2年目	R 1	4%	1.2653	101.2	33.10	44.32				
-1年目	R 2	4%	1.2167	101.9	66.27	84.75				
供用開始年次	R 3	4%	1.1699	101.8	0.91	1.12	1.42	1.75		
1年目	R 4	4%	1.1249	102.7			1.42	1.66		
2年目	R 5	4%	1.0816	107.1			1.42	1.53		
3年目	R 6	4%	1.0400	107.1			1.42	1.47		
4年目	R 7	4%	1.0000	107.1			1.42	1.42		
5年目	R 8	4%	0.9615	107.1			1.42	1.36		
6年目	R 9	4%	0.9246	107.1			1.42	1.31		
7年目	R 10	4%	0.8890	107.1			1.42	1.26		
8年目	R 11	4%	0.8548	107.1			1.42	1.21		
9年目	R 12	4%	0.8219	107.1			1.42	1.17		
10年目	R 13	4%	0.7903	107.1			1.42	1.12		
11年目	R 14	4%	0.7599	107.1			1.42	1.08		
12年目	R 15	4%	0.7307	107.1			1.42	1.04		
13年目	R 16	4%	0.7026	107.1			1.42	1.00		
14年目	R 17	4%	0.6756	107.1			1.42	0.96		
15年目	R 18	4%	0.6496	107.1			1.42	0.92		
16年目	R 19	4%	0.6246	107.1			1.42	0.89		
17年目	R 20	4%	0.6006	107.1			1.42	0.85		
18年目	R 21	4%	0.5775	107.1			1.42	0.82		
19年目	R 22	4%	0.5553	107.1			1.42	0.79		
20年目	R 23	4%	0.5339	107.1			1.42	0.76		
21年目	R 24	4%	0.5134	107.1			1.42	0.73		
22年目	R 25	4%	0.4936	107.1			1.42	0.70		
23年目	R 26	4%	0.4746	107.1			1.42	0.67		
24年目	R 27	4%	0.4564	107.1			1.42	0.65		
25年目	R 28	4%	0.4388	107.1			1.42	0.62		
26年目	R 29	4%	0.4220	107.1			1.42	0.60		
27年目	R 30	4%	0.4057	107.1			1.42	0.58		
28年目	R 31	4%	0.3901	107.1			1.42	0.55		
29年目	R 32	4%	0.3751	107.1			1.42	0.53		
30年目	R 33	4%	0.3607	107.1			1.42	0.51		
31年目	R 34	4%	0.3468	107.1			1.42	0.49		
32年目	R 35	4%	0.3335	107.1			1.42	0.47		
33年目	R 36	4%	0.3207	107.1			1.42	0.45		
34年目	R 37	4%	0.3083	107.1			1.42	0.44		
35年目	R 38	4%	0.2965	107.1			1.42	0.42		
36年目	R 39	4%	0.2851	107.1			1.42	0.40		
37年目	R 40	4%	0.2741	107.1			1.42	0.39		
38年目	R 41	4%	0.2636	107.1			1.42	0.37		
39年目	R 42	4%	0.2534	107.1			1.42	0.36		
40年目	R 43	4%	0.2437	107.1			1.42	0.35		
41年目	R 44	4%	0.2343	107.1			1.42	0.33		
42年目	R 45	4%	0.2253	107.1			1.42	0.32		
43年目	R 46	4%	0.2166	107.1			1.42	0.31		
44年目	R 47	4%	0.2083	107.1			1.42	0.30		
45年目	R 48	4%	0.2003	107.1			1.42	0.28		
46年目	R 49	4%	0.1926	107.1			1.42	0.27		
47年目	R 50	4%	0.1852	107.1			1.42	0.26		
48年目	R 51	4%	0.1780	107.1			1.42	0.25		
49年目	R 52	4%	0.1712	107.1	-4.51	-0.77	1.42	0.24		
合計					355.81	579.93	70.91	37.22	0.00	0.00
単純事業費計					360.32		70.91		0.00	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

事業名：猪ノ鼻道路

年次	年度 (基準年) R 7	総走行台数の年次別伸び率 四国ブロック			社会的 割引率 (A)	GDP テ'レータ	走行時間短縮便益 (億円/年)					走行費用減少便益 (億円/年)					事故減少便益 (億円/年)		合計 (億円/年)			
		乗用車類	普通貨物車	小型貨物車			乗用車類	普通貨物	小型貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	普通貨物	小型貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値		
供用開始年次	R 3	0.99546	1.00781	0.98436	0.99459	4%	1.1699	101.8	2.78	2.50	1.75	7.02	8.54	0.69	1.22	0.37	2.28	2.80	0.10	0.12	9.41	11.46
1年目	R 4	0.99544	1.00775	0.98411	0.99456	4%	1.1249	102.7	2.77	2.52	1.72	7.00	8.12	0.69	1.23	0.37	2.29	2.66	0.10	0.12	9.39	10.90
2年目	R 5	0.99542	1.00769	0.98385	0.99453	4%	1.0816	107.1	2.76	2.54	1.69	6.98	7.46	0.69	1.24	0.36	2.29	2.46	0.10	0.11	9.37	10.02
3年目	R 6	0.99540	1.00763	0.98359	0.99450	4%	1.0400	107.1	2.74	2.56	1.66	6.96	7.15	0.68	1.25	0.36	2.29	2.36	0.10	0.10	9.35	9.62
4年目	R 7	0.99538	1.00758	0.98331	0.99447	4%	1.0000	107.1	2.73	2.58	1.63	6.94	6.86	0.68	1.26	0.35	2.29	2.27	0.10	0.10	9.32	9.23
5年目	R 8	0.99535	1.00752	0.98303	0.99444	4%	0.9615	107.1	2.72	2.59	1.61	6.92	6.57	0.68	1.27	0.34	2.29	2.19	0.10	0.09	9.30	8.85
6年目	R 9	0.99533	1.00746	0.98274	0.99441	4%	0.9246	107.1	2.71	2.61	1.58	6.90	6.30	0.67	1.28	0.34	2.29	2.10	0.10	0.09	9.28	8.49
7年目	R 10	0.99531	1.00741	0.98243	0.99438	4%	0.8890	107.1	2.69	2.63	1.55	6.88	6.04	0.67	1.29	0.33	2.29	2.02	0.10	0.09	9.26	8.15
8年目	R 11	0.99529	1.00735	0.98212	0.99435	4%	0.8548	107.1	2.68	2.65	1.52	6.86	5.79	0.67	1.29	0.33	2.29	1.94	0.10	0.08	9.24	7.82
9年目	R 12	0.99527	1.00730	0.98179	0.99432	4%	0.8219	107.1	2.67	2.67	1.50	6.84	5.55	0.66	1.30	0.32	2.29	1.87	0.09	0.08	9.22	7.50
10年目	R 13	0.99496	1.00584	0.98821	0.99507	4%	0.7903	107.1	2.65	2.69	1.48	6.82	5.32	0.66	1.31	0.32	2.29	1.80	0.09	0.07	9.20	7.20
11年目	R 14	0.99494	1.00581	0.98807	0.99505	4%	0.7599	107.1	2.64	2.70	1.46	6.80	5.11	0.66	1.32	0.31	2.29	1.73	0.09	0.07	9.19	6.91
12年目	R 15	0.99491	1.00577	0.98793	0.99502	4%	0.7307	107.1	2.63	2.72	1.44	6.79	4.90	0.65	1.33	0.31	2.29	1.66	0.09	0.07	9.17	6.63
13年目	R 16	0.99489	1.00574	0.98778	0.99500	4%	0.7026	107.1	2.61	2.73	1.43	6.77	4.70	0.65	1.33	0.30	2.29	1.60	0.09	0.07	9.16	6.37
14年目	R 17	0.99486	1.00571	0.98763	0.99497	4%	0.6756	107.1	2.60	2.75	1.41	6.76	4.51	0.65	1.34	0.30	2.29	1.54	0.09	0.06	9.14	6.11
15年目	R 18	0.99483	1.00567	0.98747	0.99495	4%	0.6496	107.1	2.59	2.77	1.39	6.74	4.33	0.64	1.35	0.30	2.29	1.48	0.09	0.06	9.13	5.87
16年目	R 19	0.99481	1.00564	0.98731	0.99492	4%	0.6246	107.1	2.57	2.78	1.37	6.73	4.15	0.64	1.36	0.29	2.29	1.42	0.09	0.06	9.11	5.63
17年目	R 20	0.99478	1.00561	0.98715	0.99489	4%	0.6006	107.1	2.56	2.80	1.35	6.71	3.98	0.64	1.36	0.29	2.29	1.37	0.09	0.05	9.09	5.41
18年目	R 21	0.99475	1.00558	0.98698	0.99487	4%	0.5775	107.1	2.55	2.81	1.34	6.70	3.82	0.63	1.37	0.29	2.29	1.32	0.09	0.05	9.08	5.19
19年目	R 22	0.99472	1.00555	0.98681	0.99484	4%	0.5553	107.1	2.53	2.83	1.32	6.68	3.66	0.63	1.38	0.28	2.29	1.27	0.09	0.05	9.06	4.98
20年目	R 23	0.99094	1.00003	0.99183	0.99243	4%	0.5339	107.1	2.51	2.83	1.31	6.65	3.51	0.63	1.38	0.28	2.29	1.21	0.09	0.05	9.02	4.77
21年目	R 24	0.99086	1.00003	0.99176	0.99237	4%	0.5134	107.1	2.49	2.83	1.30	6.61	3.35	0.62	1.38	0.28	2.28	1.16	0.09	0.05	8.98	4.56
22年目	R 25	0.99077	1.00003	0.99169	0.99231	4%	0.4936	107.1	2.46	2.83	1.29	6.58	3.21	0.61	1.38	0.28	2.27	1.11	0.09	0.04	8.94	4.37
23年目	R 26	0.99069	1.00003	0.99162	0.99225	4%	0.4746	107.1	2.44	2.83	1.28	6.55	3.07	0.61	1.38	0.27	2.26	1.07	0.09	0.04	8.89	4.18
24年目	R 27	0.99060	1.00003	0.99155	0.99219	4%	0.4564	107.1	2.42	2.83	1.27	6.51	2.94	0.60	1.38	0.27	2.25	1.02	0.09	0.04	8.85	4.00
25年目	R 28	0.99051	1.00003	0.99148	0.99213	4%	0.4388	107.1	2.40	2.83	1.25	6.48	2.81	0.60	1.38	0.27	2.25	0.98	0.09	0.04	8.81	3.83
26年目	R 29	0.99042	1.00003	0.99141	0.99207	4%	0.4220	107.1	2.37	2.83	1.24	6.45	2.69	0.59	1.38	0.27	2.24	0.94	0.09	0.04	8.77	3.66
27年目	R 30	0.99033	1.00003	0.99133	0.99200	4%	0.4057	107.1	2.35	2.83	1.23	6.41	2.57	0.59	1.38	0.26	2.23	0.90	0.08	0.03	8.73	3.50
28年目	R 31	0.99023	1.00003	0.99126	0.99194	4%	0.3901	107.1	2.33	2.83	1.22	6.38	2.46	0.58	1.38	0.26	2.22	0.86	0.08	0.03	8.68	3.35
29年目	R 32	0.99014	1.00003	0.99118	0.99187	4%	0.3751	107.1	2.30	2.83	1.21	6.34	2.35	0.57	1.38	0.26	2.21	0.83	0.08	0.03	8.64	3.21
30年目	R 33	0.99004	1.00003	0.99110	0.99181	4%	0.3607	107.1	2.28	2.83	1.20	6.31	2.25	0.57	1.38	0.26	2.21	0.79	0.08	0.03	8.60	3.07
31年目	R 34	0.98994	1.00003	0.99102	0.99174	4%	0.3468	107.1	2.26	2.83	1.19	6.28	2.15	0.56	1.38	0.25	2.20	0.76	0.08	0.03	8.56	2.94
32年目	R 35	0.98984	1.00003	0.99094	0.99167	4%	0.3335	107.1	2.23	2.83	1.18	6.24	2.06	0.56	1.38	0.25	2.19	0.73	0.08	0.03	8.51	2.81
33年目	R 36	0.98973	1.00003	0.99086	0.99160	4%	0.3207	107.1	2.21	2.83	1.17	6.21	1.97	0.55	1.38	0.25	2.18	0.70	0.08	0.03	8.47	2.69
34年目	R 37	0.98962	1.00003	0.99077	0.99153	4%	0.3083	107.1	2.19	2.83	1.16	6.18	1.88	0.55	1.38	0.25	2.17	0.67	0.08	0.02	8.43	2.57
35年目	R 38	0.98952	1.00003	0.99069	0.99146	4%	0.2965	107.1	2.17	2.83	1.15	6.14	1.80	0.54	1.38	0.25	2.17	0.64	0.08	0.02	8.39	2.46
36年目	R 39	0.98941	1.00003	0.99060	0.99138	4%	0.2851	107.1	2.14	2.83	1.14	6.11	1.72	0.53	1.38	0.24	2.16	0.61	0.08	0.02	8.34	2.35
37年目	R 40	0.98929	1.00003	0.99051	0.99131	4%	0.2741	107.1	2.12	2.83	1.13	6.07	1.64	0.53	1.38	0.24	2.15	0.59	0.08	0.02	8.30	2.25
38年目	R 41	0.98918	1.00003	0.99042	0.99123	4%	0.2636	107.1	2.10	2.83	1.11	6.04	1.57	0.52	1.38	0.24	2.14	0.56	0.08	0.02	8.26	2.15
39年目	R 42	0.98906	1.00003	0.99032	0.99116	4%	0.2534	107.1	2.07	2.83	1.10	6.01	1.50	0.52	1.38	0.24	2.13	0.54	0.08	0.02	8.22	2.06
40年目	R 43	0.98894	1.00003	0.99023	0.99108	4%	0.2437	107.1	2.05	2.83	1.09	5.97	1.44	0.51	1.38	0.23	2.13	0.52	0.08	0.02	8.17	1.97
41年目	R 44	0.98881	1.00003	0.99013	0.99100	4%	0.2343	107.1	2.03	2.83	1.08	5.94	1.37	0.51	1.38	0.23	2.12	0.49	0.08	0.02	8.13	1.89
42年目	R 45	0.98869	1.00003	0.99004	0.99092	4%	0.2253	107.1	2.01	2.83	1.07	5.										

参考様式-1

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道32号	猪ノ鼻道路	2	8.4km

■事業費内訳(全体事業費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					31,085	
	改良費		式		6,943	
	土工	m³	1,196,783	1,654	切土(471,629m³)、盛土(58,743m³)、捨土(666,344m³)	
	軟弱地盤改良工	m³				
	法面工	m²	59,353	1,391	切土法面、盛土法面	
	擁壁工	式	1	2,628	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等	
	管渠工	m	363	28		
	函渠工	m	281	90		
	排水工	m	12,747	376		
	中央分離帯工	m				
	雑工	式	1	777	機能補償道路(703m)等	
	橋梁費				1,879	
	100m以上	m				
	100m未満	m	296	1,879	鋼橋4橋、PC橋2橋	
	トンネル費				21,711	
	NATM	m	6,738	21,711	4本	
	シールド	m				
	IC・JCT費					
	IC	箇所				
	JCT	箇所				
	舗装費				168	
	車道舗装	m²	19,392	163		
	歩道舗装	m²	1,410	6		
	付帯施設費				382	
	交通管理施設工	式	1	382	標識工、防護柵工、道路照明等	
	遮音壁	m				
②用地及補償費				1	1,094	
	用地費		m²	48,624	451	
	宅地	m²	3,214	191		
	田畠	m²	8,327	199		
	山林・原野	m²	35,251	38		
	その他	m²	1,832	23		
	補償費	式	1	643		
③間接経費			式	1	6,568	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					38,747	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業／残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道32号	猪ノ鼻道路	2	8.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	8.4	1,800	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,000	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,800	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費	式	1		構造物の更新
更新費合計	式			

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

○更新費は、更新計画やこれまでの類似実績等から算出。